咲かせよう
笑顔の花を
未来まで
休眠預金を活用した事業です

2025年度 活動支援団体 公募に向けて
2025年6月

JANPIA
一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

活動支援団体が休眠預金活用事業において果たす役割について

休眠預金活用事業全体の質・量の充実に向けては、地域や特定の課題領域における「資金支援の担い手」、「民間公益活動の担い手」育成につながる活動支援プログラムを実施いただく『活動支援団体』が増えていくことが欠かせません。

すなわち、休眠預金活用事業における、資金分配団体、実行団体となることを目指す団体が増え（これら支援を受けた団体が）、休眠預金活用事業における助成事業や出資事業の担い手として、制度の狭間を埋める創意工夫を活かした休眠預金活用事業をプログラム化し、資金分配団体や実行団体になることを標ぼうし、公募・申請をしていただく・・・そうした流れを作ることができると考えています。

JANPIAでは、制度趣旨、事業イメージの具体化など公募説明会での周知の工夫等により、活動支援団体によって生み出される支援ノウハウが蓄積・活用され、将来の担い手に還元されていく仕組みづくりを進めていくことを目指していきます！

活動支援団体

活動支援プログラムを策定

- ✓ 支援対象の特定　・支援対象の想定、どういう状況にある団体をどのような手法で計画的に支援を行っていくのか？
- ✓ 支援対象団体を、休眠預金活用事業の担い手に求めあれる種々の要件が充足されるよう、総合的な支援を行う、あるいは、評価ノウハウや、ファンドレイジング、事業プログラム策定能力向上といった特定領域の支援メニュ―の提供もあり！

ここがポイント！

休眠預金活用事業についての制度理解と、これまでの助成事業を通じての取り組み事例や成果などへの深い理解がなされていることであり、それなくして、適切な活動支援プログラムの策定にはつながりません。

→　休眠預金活用事業プラットフォーム掲載の各種記事、総合評価2023、2024などを是非参照してください！

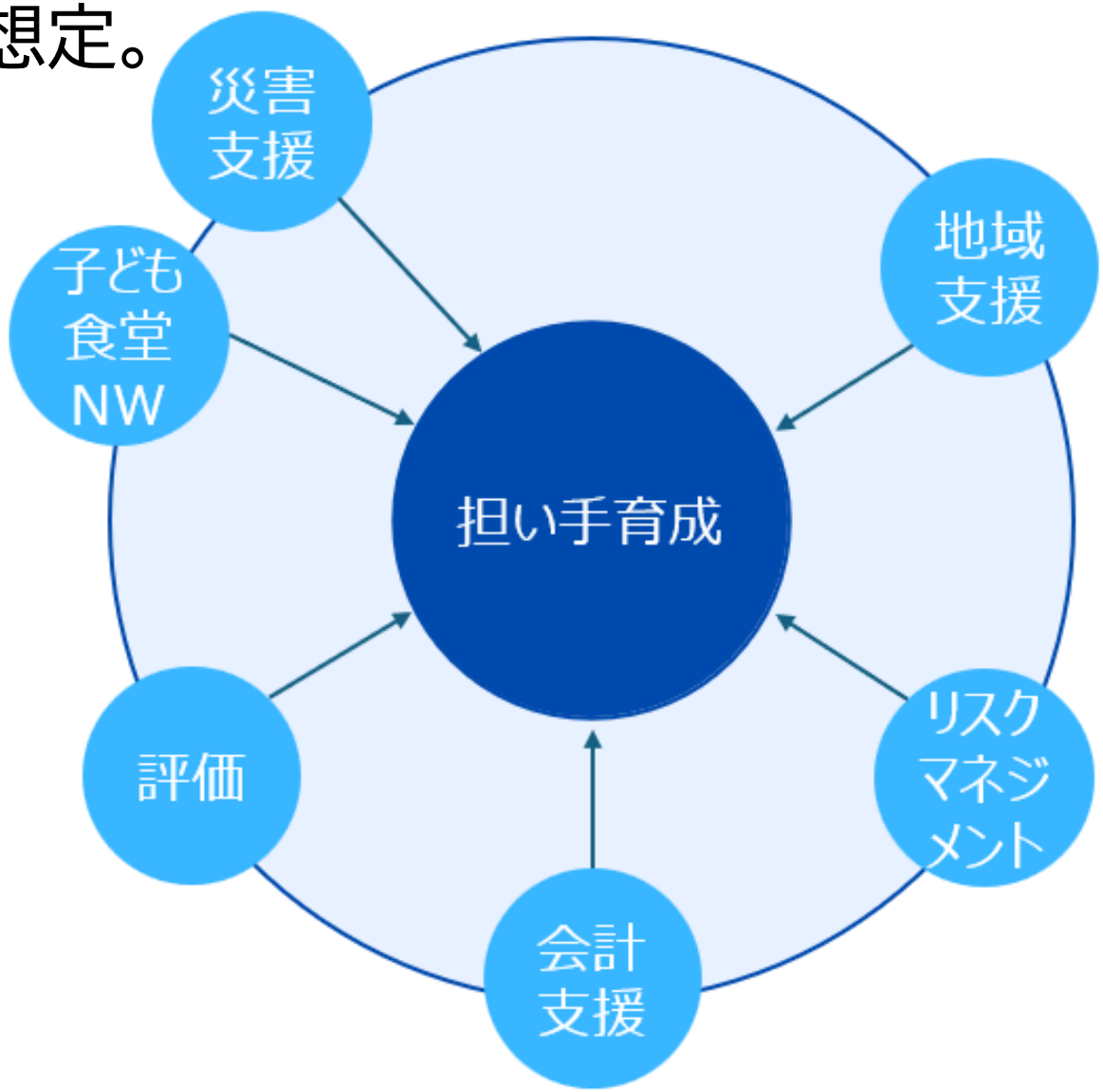
支援対象団体

休眠預金活用事業の資金分配団体・実行団体に求められる要件（運営体制面、コンプライアンス、評価実施、事業プログラム策定・その他・・・）
これを　強化・引き上げることで、将来、公募申請につなげたい、採択に至った場合にも、活動支援プログラムで自団体に培った、運営体制、事業推進に必要なスキルなどを最大限に活用し、スムーズに3カ年の事業に向き合える状況を作りたい！

それに向き合おうとする意志を持った団体

支援対象団体としての支援期間中に、休眠預金からは助成は行われない
→　活動支援団体によって提供される無償の支援・サポートを受けて、自団体の成長を目指す！

		支援内容の分野			
		事業実施（プロジェクト実施）	組織運営	広報・ファンドレイジング	社会的インパクト評価
支援対象	資金支援の担い手 既存の資金分配団体を含む	● 助成事業の企画立案 ● 社会的インパクトを組み入れた出資事業立案 ● 資金支援・伴走支援ノウハウ	● 助成事業に必要なガバナンス・コンプライアンス体制等の構築 ● 組織の中長期計画作成 ● 人材育成 ● 適切な資金管理体制の構築（監査体制構築支援を含む）	● 広報ノウハウ支援 ● 中間支援組織のファンドレイジングのノウハウ支援 ● 中長期的に地域を支えるための資金循環を生み出すファンドレイジング戦略の作成	● 包括的支援プログラムの評価の在り方 ● 出資事業における社会的インパクト評価の実施 ● 評価に係る伴走支援ノウハウ
	民間公益活動を実施する担い手 既存の実行団体を含む	● 担い手発掘 ● 社会課題解決のための事業の組立て ● 事業内容に応じた専門的研修（居住支援、災害支援、子どものセーフガーディングなど）	● 団体に必要な関係規程類の整備 ● 組織の中長期計画作成 ● 人材育成 ● 適切な資金管理体制の構築	● 広報ノウハウ支援 ● 助成金・補助金申請に係るノウハウ習得 ● 組織の持続可能性を高めるためのファンドレイジング ● 政策提言のノウハウ支援	● 事業設計図（ロジックモデル等）の作成支援 ● 定量的・定性的な評価手法の習得支援 ● 評価を活用した事業立案や事業実施

活動支援プログラム充実に向けての展開イメージ図

●が活動支援団体の支援プログラムで、今後プログラム、支援メニューが充実していくことを想定。